

項	教育目標	重点目標 (努力目標)	具体的な取組	取組状況・成果・課題	自己評価 (4点満点)	学校関係者からいただいた 評価・意見等	改善策 ※左欄(学校関係者からいただいた評価・ 意見等)を踏まえた改善策には、 <u>下線</u>	
心豊かにたくましく生きる 神戸の子供を育む	自ら学び取っていく 心豊かでたくましい子供	進んで学ぶ子	垂水スタンダードを作成	授業や学習道具、生徒指導等のきまりを共通理解のもとに指導した。	3	先生方が共通理解して、6年間継続した指導を進めていってほしい。	内容を随時検討し、基礎、基本の定着が図れるよう共通した指導を行っていく。	
			放課後学習の充実	個別に指導をすることで、基礎基本の定着を図り、学習の理解が深まった。	3.1	休校期間中の授業を取り戻すため、学習の進捗が早かったため、学力の定着が心配される。	IPの活用、児童の習熟度に合わせた放課後の少人数指導をさらに推進していく。	
		思いやりのある子	インクルーシブ教育の充実	異学年交流やなかよし学級の児童との交流活動を行った。	3	だれに対しても優しい気持ちで接することができる子供たちを育ててほしい。	異学年交流やなかよし学級との交流をさらに進めるとともに、自分の言動を振り返り、相手を思いやることができるようにする。	
			全学年あいさつ運動	「あいさつ運動」に取り組み、元気よくあいさつする姿が見られた。	2.9	自分から進んであいさつができる子もいる。もっと増えよう。	引き続き「あいさつ運動」を全学年で継続していく。朝だけでなくいつでも、だれにでも、自分から気持ちのよいあいさつができる子を育てる。	
		たくましい子	正しい姿勢の保持	「チャイムでピタピン」を合言葉に常に姿勢を意識し、保持できるようにした。	3.1	継続して取り組むことで、心のたくましさにもつながると思う。	姿勢の保持ができるよう、今後も継続して声かけを行う。	
			授業に向かう体づくりの取組推進	縄跳びタイムを設定し、全校生で体力アップの活動に取り組んだ。	2.7	学校と保護者が協力して子供たちの運動を支える取組を進めていく。	体力づくりとともに、精神面のたくましさも育てられるようにする。正しい姿勢を続けることを全校生で取り組む。	
		安全・安心で共に楽しい学校を支える 地域と共によりよい学校を築き、	伝え合う力、コミュニケーション力を育てる	授業を通して、集団づくりやお互いに理解を深める	小グループでの活動を取り入れ、司会を決めて話し合う機会をたくさん作ることで、仲間を意識した話し方、聞き方の児童が増えた。	2.9	自分の考えをもって話す活動を、各学年の様々な授業で積極的に取り入れ、目的や意図に応じた伝える力が向上していくとよい。	自分の考えや意図が伝わるよう、話す内容を整理したり、話し手の意図を捉えながら聞いて自分の意見と比べて考えたりする活動を取り入れる。
					自分の意見を伝えるだけでなく、相手の考えのよさに気付いたり、よりよい考えとなるよう意見を述べたりすることができるようにした。	2.8	子供たちが積極的に話し合い活動に参加することで、分かる、分かってもらえる喜びを味わえるようにしてほしい。	児童が主体的に活動に取り組めるよう見通しをもたせ、聞き手や話の構成を意識して話す機会を多くもつ。
			いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止対策に関する取組(いじめ問題対策委員会等)	いじめを防止についての基本方針を策定し、全職員の共通理解を図った。	2.9	子供たちの様子の変化に気づいたり、先生に相談しやすい環境や信頼関係づくりを今後も続けてほしい。	担任だけでなく、職員全体で情報を共有し、子供の発するサインを早期に発見して、早期に解決していく。	
音楽隊活動の充実	感染症拡大防止のため、かなり活動が制限された。発表の場がほとんどなかったのが残念だった。		2.5	音楽隊活動が地域と学校をつなぐ役割を果たしている。引き続き地域としても支えていく。	感染対策を行って活動し、演奏できる場を作れるようにしていく。			
業務改善の推進	職員会議や校内研修、部会等を定刻通りにはじめ、終了時刻を厳守する。		3	先生方の仕事の負担軽減や効率化をはかり、ゆとりをもって子供たちと接するようになってほしい。	KIIFを活用し、会議の前日までに提案事項等をデータとして入力する。検討事項を中心に、終了時刻を頭に入れて、話し合いを進める。			
地域の施設や人材との連携を図り、地域の方々と共に子供たちを育む	感染症拡大防止のため、例年通りに実施はできなかったが、環境教育や読み聞かせなどご協力をいただけた。	3	常にマスクを着用しての生活だった。顔の分かる関係での連携し、地域で子供を育てる雰囲気をつくる。	地域の方との連携を深めて活動を行い、自分の住む町や人に親しみをもち、よさを知ることのできる交流を進めていく。				
学校便りやホームページ等による積極的な情報の発信を図る	学校での教育活動の発信を行ったり、学校と地域の連携や子供の成長の様子を発信したりした。	2.9	学校が日頃の活動のねらいや、取組のよさを紹介することで、学校が身近に感じられ、理解が深まる。	学校の重点目標に添った取組を積極的に発信することで、地域・保護者の理解を図り、連携を進める。				